

# FileGee エンタープライズ クライアント

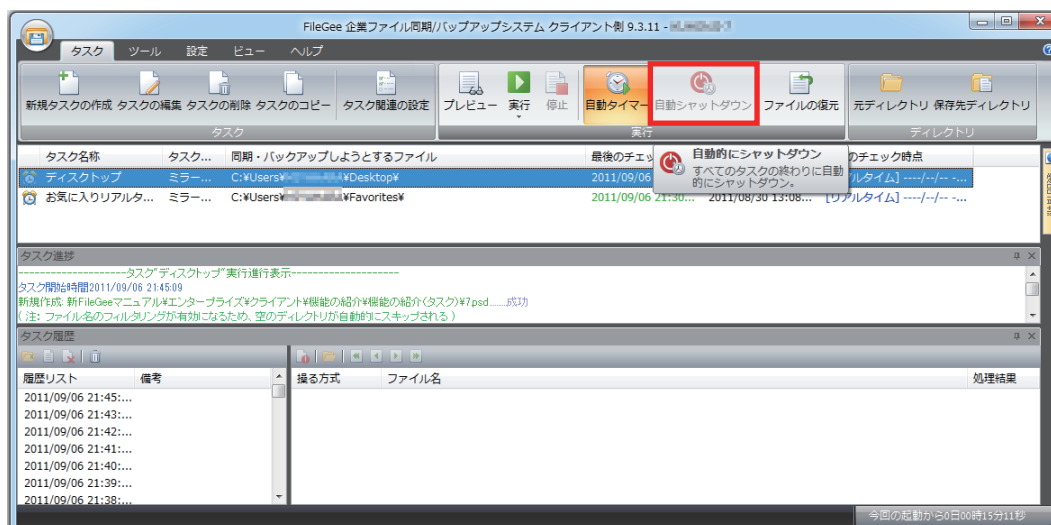
---

Version 1.1

FileGee エンタープライズクライアントマニュアル 「機能の紹介」

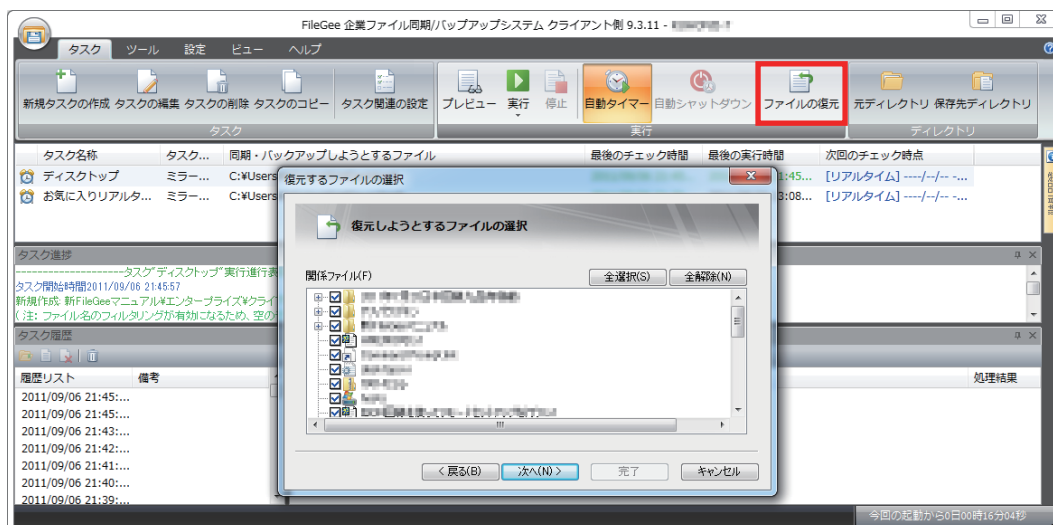
[ サーバー ][ タスク ][ ツール ][ 設定 ][ ビュー ][ ヘルプ ]

## ■自動シャットダウン



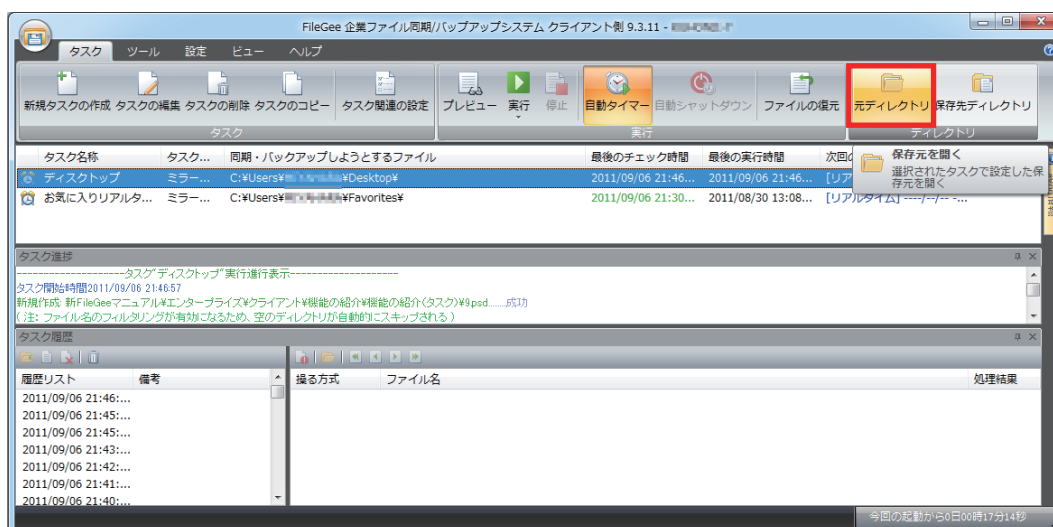
設定してあるタスクの実行後、自動的にパソコンをシャットダウンさせたい場合使う機能です。但し、実行中のタスクのみ機能しますので、それ以外はこの機能を使う事はできません。例えば、外出前にタスクが実行されてしまい終了するまで待てない場合などにこの機能を使います。

## ■ファイルの復元



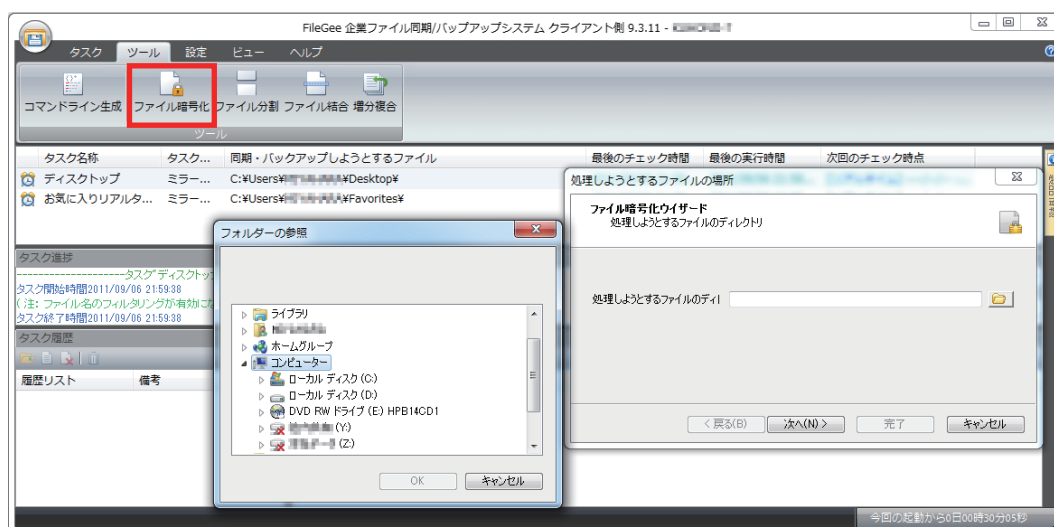
データ紛失なので理由でバックアップしたファイルを復元したい場合にこの機能を使います。復元したいタスクを選択後「ファイルの復元」をクリックすると、上記画面が表示されます。全てチェックが入っている状態で「次へ」進むと全てのファイルが以前タスクが実行された時点に復元されますので、必要に応じて必要なファイルだけを選択してください。

## ■元ディレクトリ



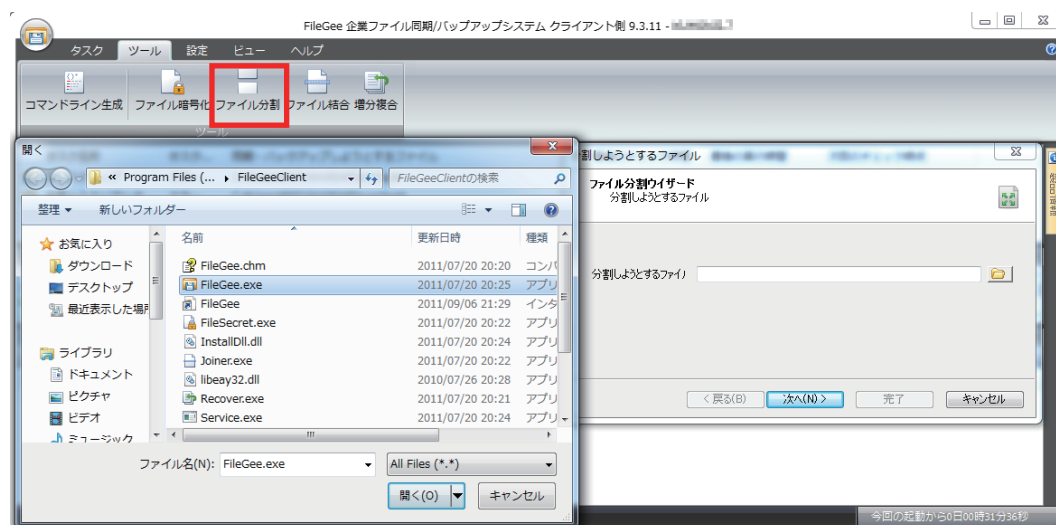
「元ディレクト」をクリックする事でバックアップ元が表示されます。例えば、デスクトップを指定したタスクを組んでいる場合、エクスプローラでデスクトップが表示されます。

## ■ファイル暗号化



FileGee はバックアップ機能とは別に単独で暗号化ツールを実装しています。例えば FileGee がインストールしてある PC 間のデータ受渡しや、DVD・CD・USB メディアなどに暗号化したファイルを書き込んで保管する場合も盗難などの事故で情報漏洩する可能性を低くします。

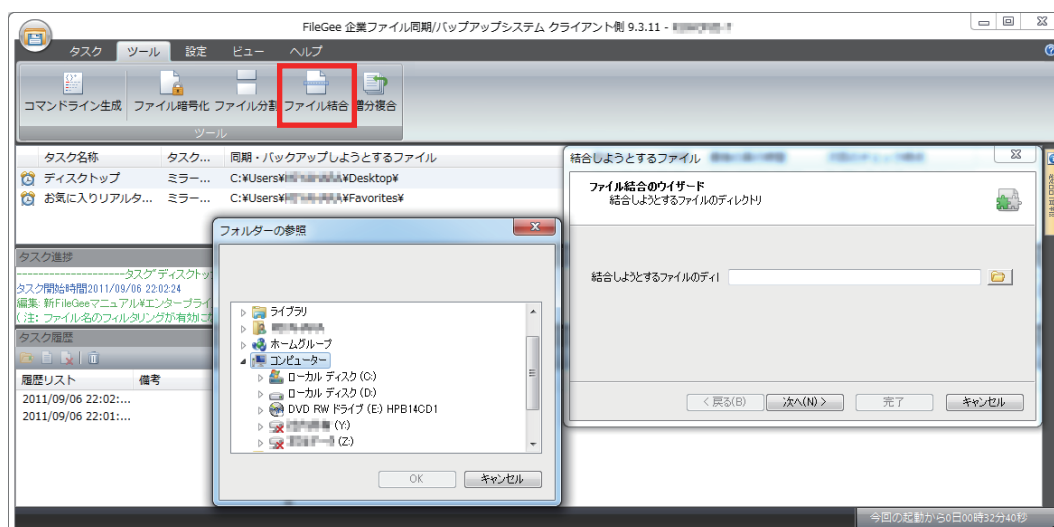
## ■ファイル分割



FileGee はバックアップ機能とは別に単独でファイル分割機能を備えています。この機能を使う事で 1 つの大きなファイルを指定した小さいサイズに分割し、結合する事も可能です。トップシークレットに位置するファイルを分割し、その分割したファイルを複数の人員で分散保存する事で更に高いセキュリティを保てます。また、分割する際、暗号化処理をする事で最も高いセキュリティを実現します。

※ファイルを結合するには、分散した全てのファイルと、暗号化を行った場合そのパスワードが絶対必要です。

## ■ファイル結合

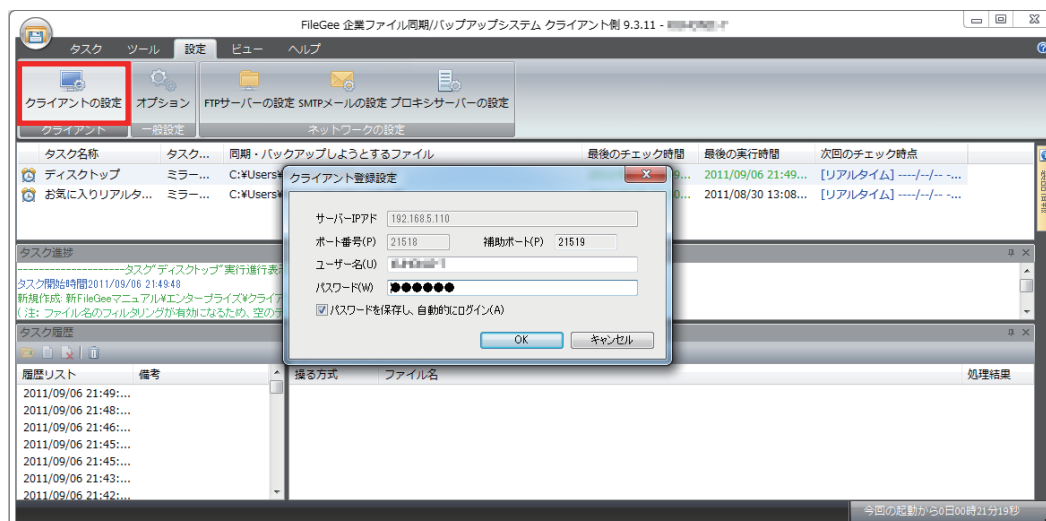


Page11 で説明したファイルを結合する際使用するツールです。分割したファイルを任意のフォルダに入れその場所を指定します。暗号化を行っていた場合パスワードの入力を求められますので、それも併せて入力します。結合したファイルを書き出す場所を指定すると同時に、結合したファイル名も指定する必要があります。

※ファイル名を指定する際、その拡張子も付ける必要があります。

例) ○○○.exe や ○○○.xls

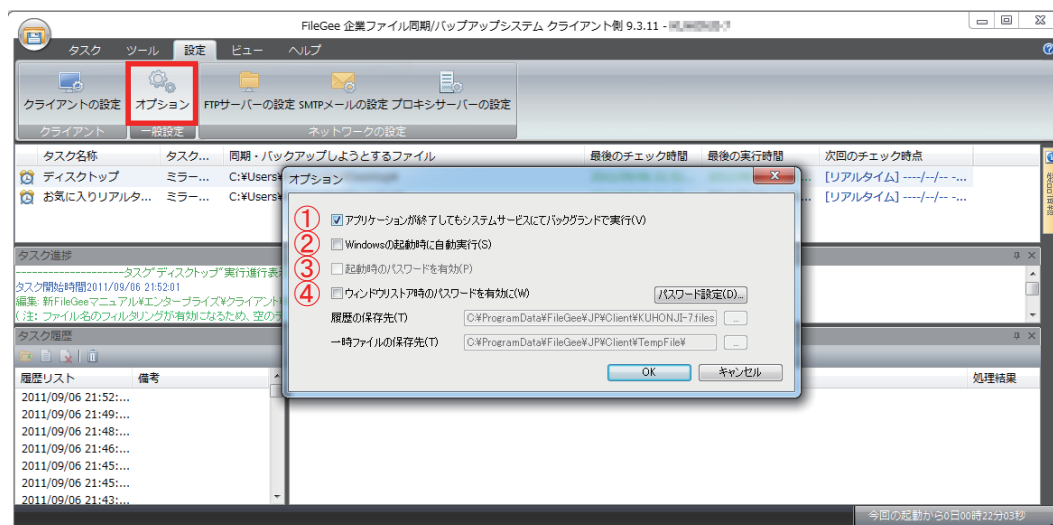
## ■クライアントの設定



FileGee エンタープライズクライアントからサーバーへログインするユーザー名/パスワードを変更することができます。通常この設定はクライアントインストール直後に行いますがそれを変更する場合この機能を使います。尚、サーバーの IP アドレス及びポート番号は変更する事はできませんのでご注意ください。サーバーやネットワーク構成などの変更で IP アドレスやポート番号を変更したい場合、この画面でユーザー名/パスワードを削除し、「OK」ボタンを押した後、クライアントを再起動する事で再度「サーバーへログイン」の画面が表示されますので、再度設定をしてください。



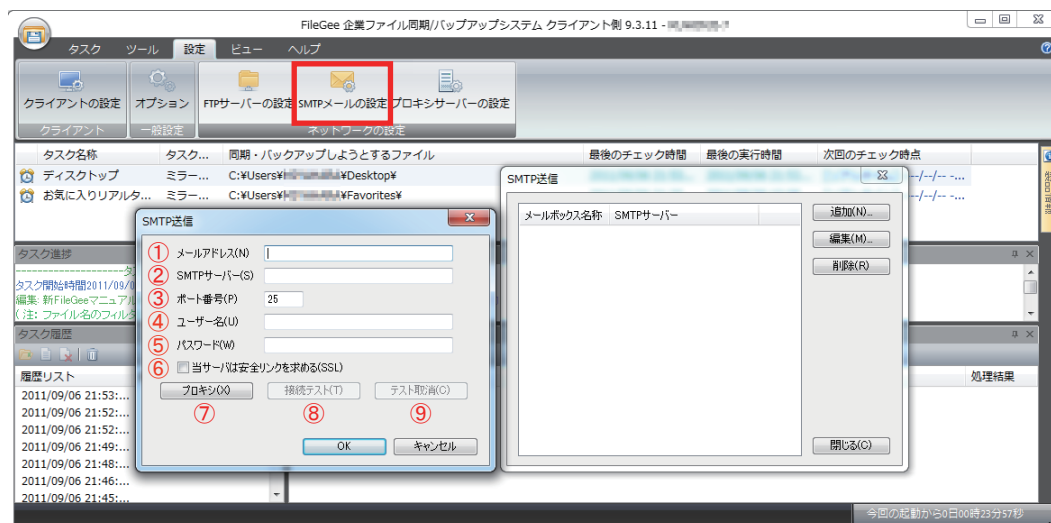
## ■オプション



- ① アプリケーションが終了してもシステムサービスにてバックグラウンドで実行  
この項目にチェックを入れると画面を閉じてバックグラウンドで動作します。  
通常チェックを入れて下さい。
- ② Windows の起動時に自動実行  
チェックを入れると、Windows にログインした際デスクトップ上のタスクバー  
にアイコンが表示されバックアップ状況が確認できます。しかし、チェックを外して  
いても、パソコンが起動した際バックグラウンドで FileGee は実行されますので  
大切なデータは保護されます。
- ③ 起動時のパスワードを有効  
FileGee のインターフェイスを起動させる際、パスワードを設定する事ができます
- ④ ウィンドリストア時のパスワードを有効に  
誤操作によるバックアップシステムの停止を防ぐ為、この項目にチェックを入れる  
事で FileGee を停止させる際、パスワードを求められます。



## ■SMTP メールの設定



FileGee は大切なデータをメール経由で別のパソコンに送る事ができます。以下その初期設定方法を記載します。※メールにバックアップデータを送る場合、ご契約のプロバイダー等の容量をご確認ください。あまり大きなデータを送ると正常に受信できなくなる場合があります。尚、設定にはプロバイダーの契約書類記載のメール情報をご覧ください。

- ① メールアドレス  
送信する際使用するメールアドレスを入力します。
- ② SMTP サーバー  
接続する SMTP サーバー名を入力します。
- ③ ポート番号  
標準で 25 が記載されていますが、プロバイダーによって 587 を指定する場合があります
- ④ ユーザー名  
SMTP サーバーにログインするユーザー名を入力します。
- ⑤ パスワード  
SMTP サーバーにログインするパスワードを入力します。
- ⑥ 当サーバーは安全リンクを求める (SSL)  
SMTP が暗号化通信に対応している場合指定する事ができます。ポート番号が変更になる場合がありますので、プロバイダーの契約内容をご確認ください。
- ⑦ プロキシ  
プロキシ経由で SMTP にアクセスする場合ここで指定できます
- ⑧ 接続テスト  
設定した内容が正しいかテストする事ができます。
- ⑨ テスト取消  
接続テストを取消する場合このボタンを押します。

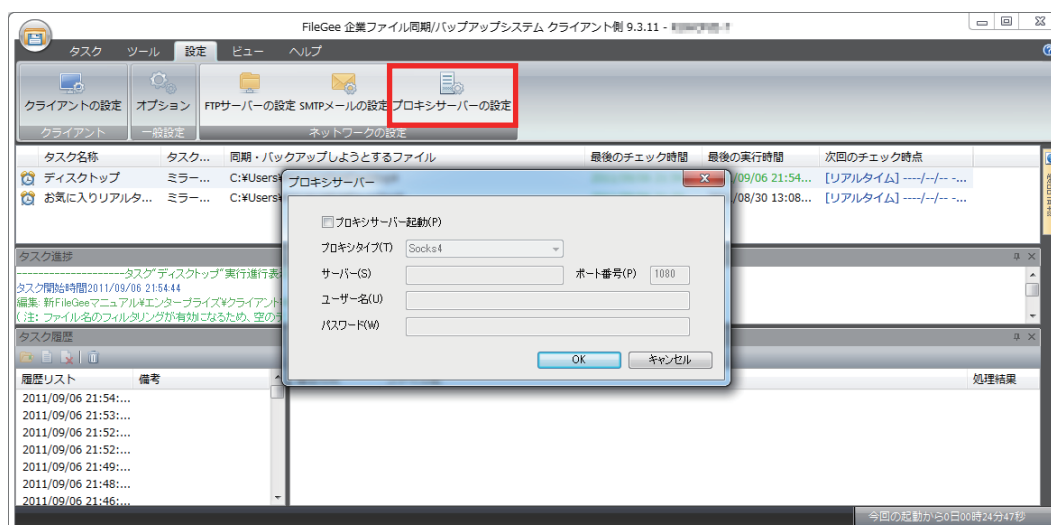
## ■新規タスクの作成



新たにバックアップの設定をする際使う機能です。「新規タスクの作成」をクリックすることで上記画面「タイプと名称」が表示されます。

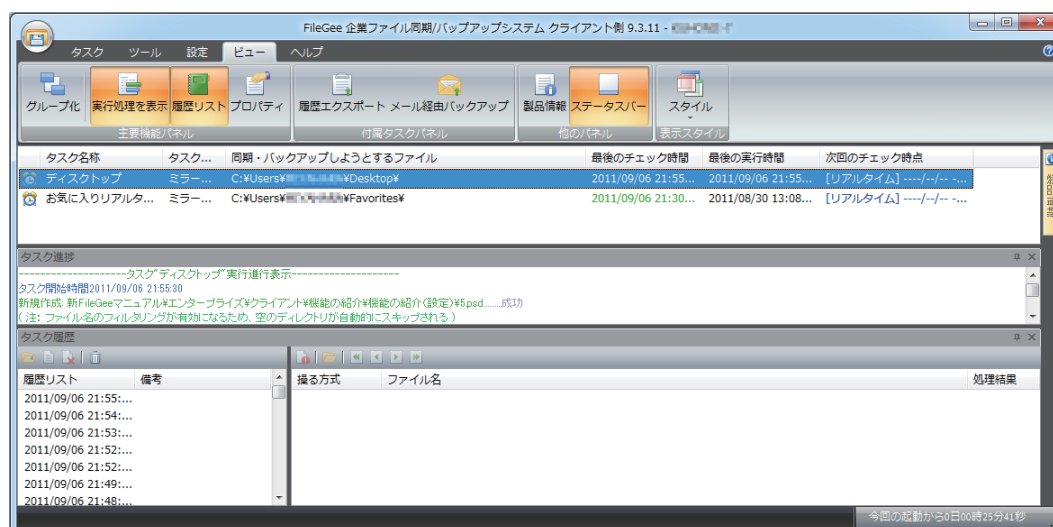
※詳細なタスクの設定方法は別紙で説明致します。

## ■プロキシサーバーの設定



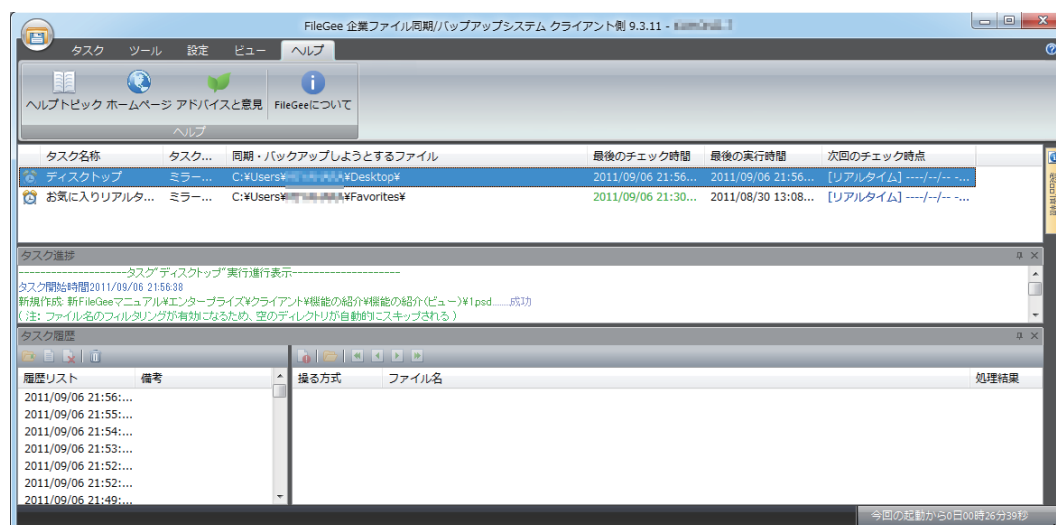
大企業などの環境では、セキュリティ上プロキシサーバーを使用しないとインターネットに接続できない場合があります。その際この機能を使い外部と通信する事ができるようになります。

## ■ビュー



この項目は、FileGee インターフェイスの表示切り替えをします。上記画面に表示されている「ユーザー管理」や「履歴リスト」などの表示・非表示ができます。また、表示スタイルを変更する事で外観デザインの色を変更する事も可能です。

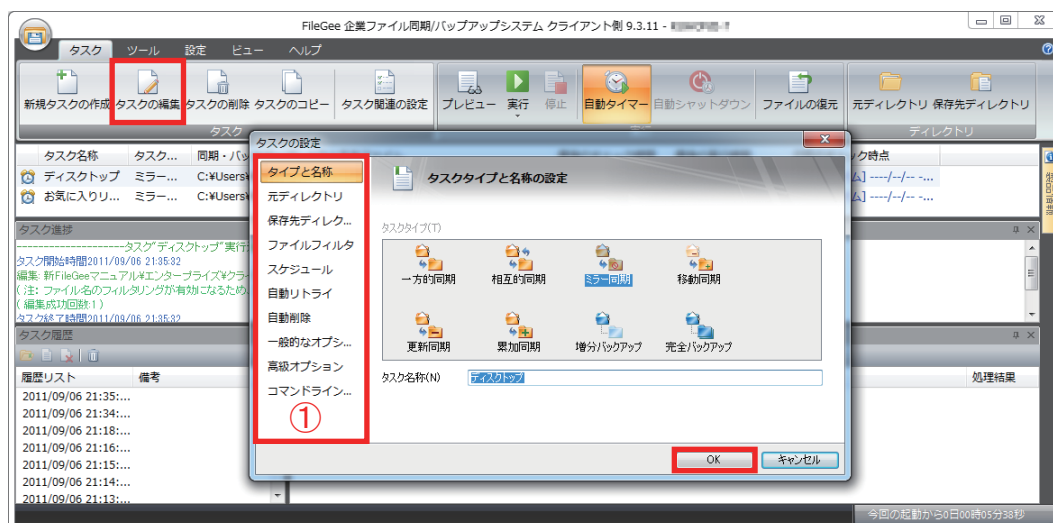
## ■ビュー



ヘルプタブを開く事で、操作マニュアルや、ユーザー情報の登録、ライセンス登録など行う事ができます。

※詳細なライセンス登録方法は別紙で説明致します。

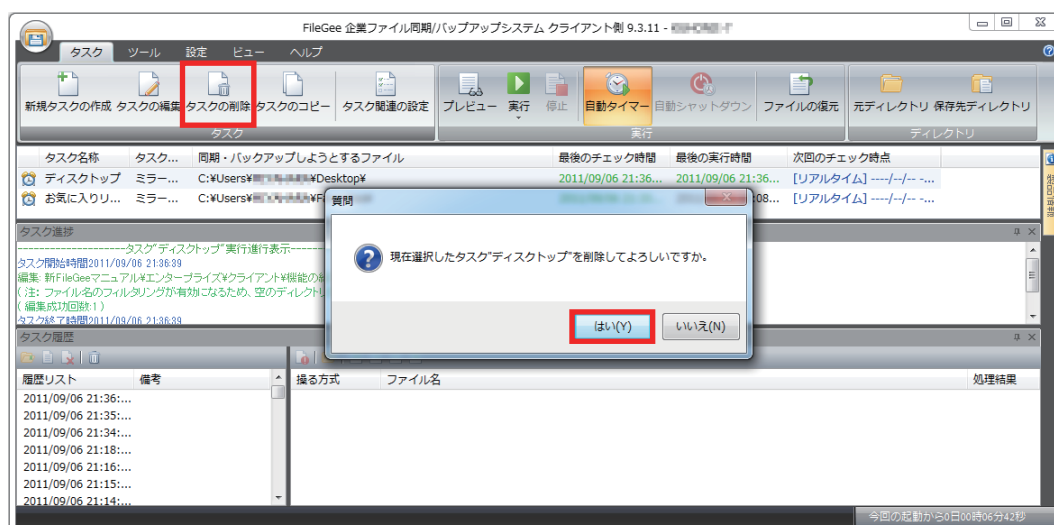
## ■タスクの編集



一度設定したバックアップタスクを変更する事ができます。「タスクの編集」をクリックし「タスクの設定」が表示されたら、①枠の部分で変更したい項目を選び作業が完了したら「OK」ボタンを押して下さい。

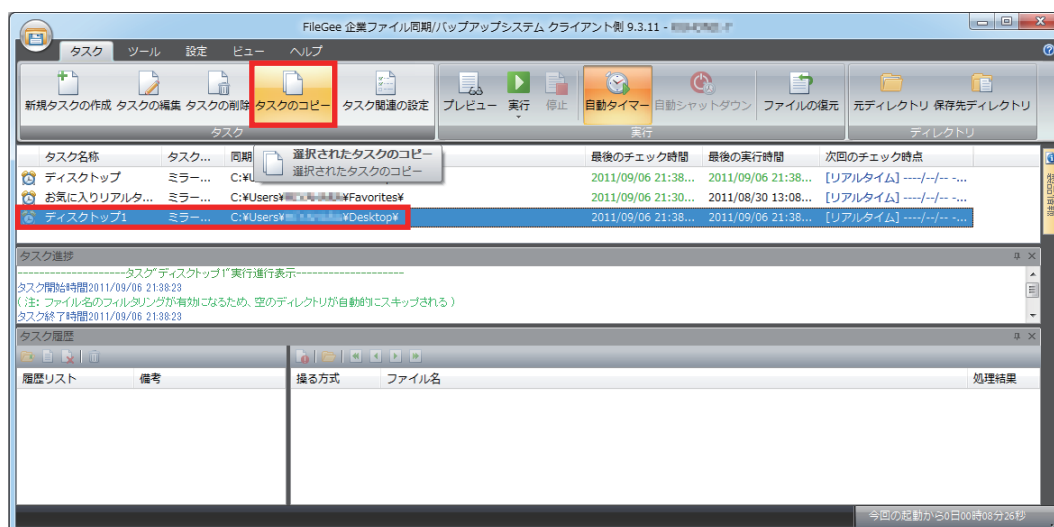


## ■タスクの削除



一度作成したタスクを削除する場合、「タスクの削除」をクリックし「OK」を押して下さい。タスクを削除されてもバックアップされたファイルはサーバー内から削除されませんので、直接そのフォルダを削除してください。

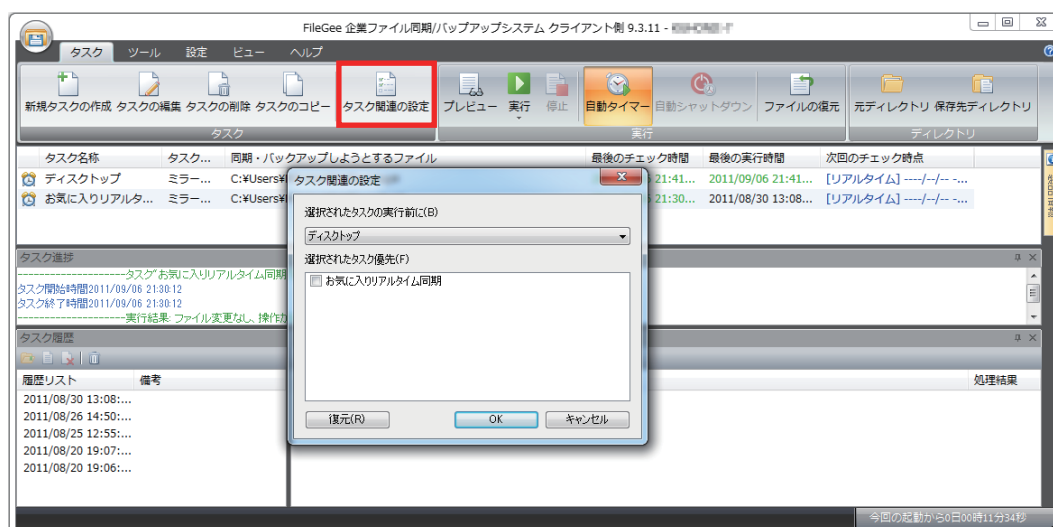
## ■タスクのコピー



複数タスクを組む場合の手間を少しでも減らすため、現在登録しているタスクをコピーしその複製したタスクを追加する事ができます。この機能は主にこのように使います。

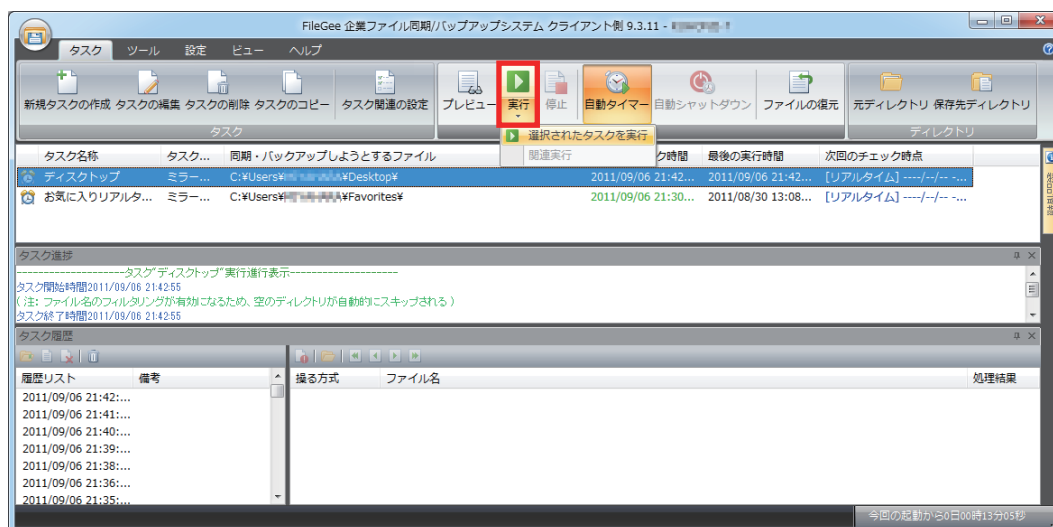
例) デスクトップのデータを曜日毎にバックアップする場合、始めに「月・水・金」の決まった時間にタスクを実行しバックアップフォルダ「月・水・金」にデータをコピーするように設定した後、新たに「火・木・土」のタスクを設定し、「火・木・土」のバックアップフォルダにデータをコピーするよう二度同じような操作をする必要がありますが、タスクのコピー機能を使う事で「月・水・金」のタスクをコピーした上で、タスクの編集機能を使い、スケジュールの部分と、保存先ディレクトリの部分だけ編集すれば簡単にタスクを作成できます。

## ■タスク関連の設定



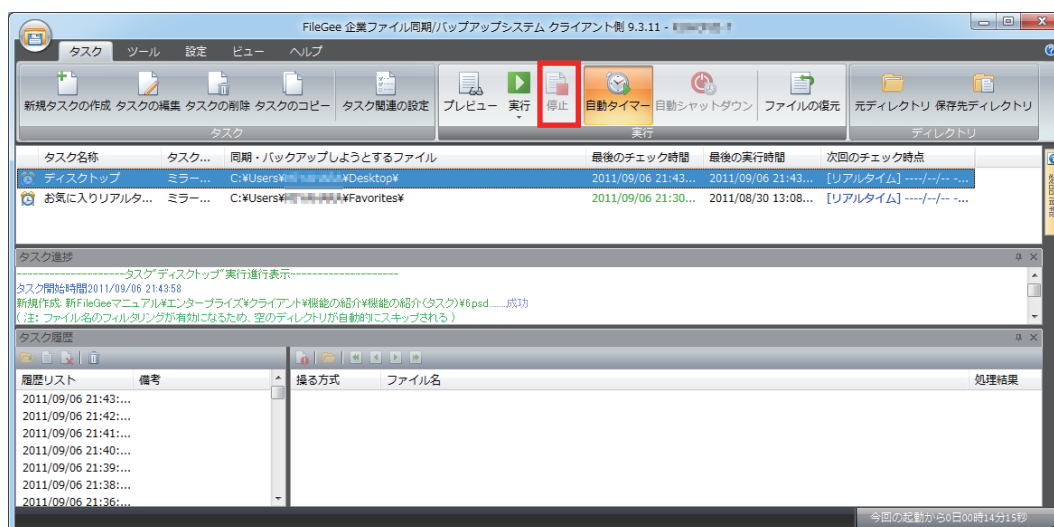
複数のバックアップタスクを組んだ場合、時によってはその順番が重要になる場合があります。通常タスクを組む場合実行する時間を指定しますが、その時間帯にクライアント PC が起動していない場合、設定によっては次回起動時に未実行のタスクが即時実行されます。その際タスク実行の優先順位を予め決めておく事でタスク実行優先順位でのトラブルを未然に防ぐ事が可能になります

## ■タスクの実行



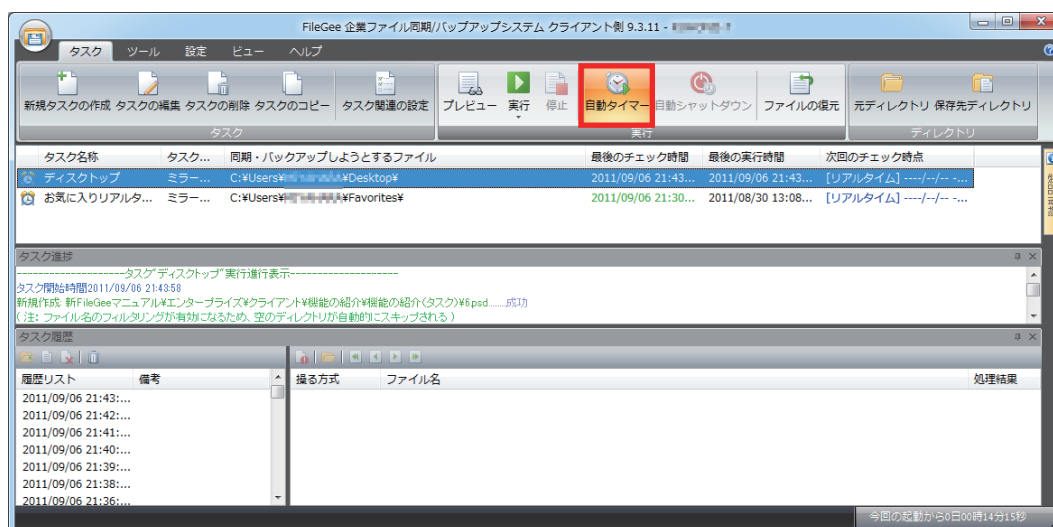
設定してあるタスクを今すぐ実行したい場合、この機能を使います。実行したいタスクを選択し「実行」をクリックして下さい。

## ■タスクの停止



現在実行されているタスクを停止させたい場合があると思います。その場合停止させたいタスクを選択後「停止」ボタンを押す事でタスクを停止できます。

## ■自動タイマー



現在設定してあるタスクを一時的に無効にする機能です。無効にしたいタスクを選択後自動タイマーをクリックする事でそのタスクは実行されなくなります。